

의

～의 (所有・所属)

日本語の「の」に当たりますが、韓国語では省くほうが自然な場面が多いのが最大の違いです。読みも 의 ではなく [에] になります。

■ つけ方

状況	形	例
所有	의	친구의 책
発音	[에] と読む	저의 → [저에]
나 + 의	내	내 책 (나의 책 より自然)
저 + 의	제	제 이름
너 + 의	네	네 생각
多くの場合	省略する	한국 음식 (한국의 음식 △)

■ 「の」とどう違うか

所有や所属を示す働きは「の」と同じです。친구의 책 (友だちの本)。ただし使用頻度が日本語よりずっと低い点が重要です。

名詞が並ぶだけで「の」の意味になります。한국 음식 (韓国の料理)、회사 사람 (会社の人)。日本語ならほぼ必ず「の」を入れるところを、韓国語は省くほうが自然です。의 を入れすぎると翻訳調になります。

代名詞は縮約形が普通です。나의 → 내、저의 → 제、너의 → 네。제 이름은 (わたしの名前は) が自然で、저의 이름은 は硬く響きます。

発音にも注意。助詞の 의 は [에] と読みます。表記と読みが違う数少ない例です。

■ 例文

- 1 제 이름은 카스미예요.
わたしの名前はカスミです。
- 2 이건 누구 가방이에요?
これは誰のかばんですか。
- 3 한국 음식을 좋아해요.
韓国の料理が好きです。
- 4 우리 회사는 서울에 있어요.
うちの会社はソウルにあります。
- 5 친구의 결혼식에 갔어요.
友だちの結婚式に行きました。
- 6 네 생각은 어때?
君の考えはどう？

■ 紛らわしいもの

省略
名詞を並べるだけで「の」の意味になります。日常会話ではこちらが基本です。
한국 음식 (自然) / 한국의 음식 (やや硬い)

우리
日本語の「うちの」に当たります。会社・家族・国など、自分が属するものには 우리 を使います。
우리 회사 (うちの会社) / 제 회사 (自分が所有する会社)

(으)로
材料や手段を表すときは 의 ではなく (으)로 です。
나무로 만든 의자 (木の椅子)

■ まちがえやすい点

- ✕ 저의 이름은 카스미예요.
○ 제 이름은 카스미예요.
代名詞は縮約形が普通です。저의 は硬く、話し言葉では 제 を使います。
- ✕ 한국의 음식의 맛
○ 한국 음식 맛
의 を重ねると翻訳調になります。名詞を並べるだけで足ります。
- ✕ 이건 누구의 거예요? —話し言葉で
○ 이건 누구 거예요?
話すときは 의 を省くのが自然です。